



埼玉県のマスコット コバトン

# 埼玉県 獣医師会 会報

## 第 602 号

平成25年12月20日編集

発 行 所  
公益社団法人 埼玉県獣医師会  
〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-340  
(埼玉県農業共済会館内)  
電 話 048(645)1906  
FAX 048(648)1865  
E-mail : s-vma@vesta.ocn.ne.jp  
URL : <http://www.saitama-vma.org/>  
振替口座 00110-9-195954番

発行責任者 高 橋 三 男

編集責任者 三 森 信 行

印 刷 所 (株)アサヒコミュニケーションズ

### 記 事 の 内 容

#### 埼玉県獣医師会公益社団法人移行記念

- 新春懇談会開催のご案内…………… 1  
(公社) 埼玉県獣医師会  
狂犬病予防対策に関する講習会を開催… 2  
平成25年度埼玉県獣医師会新入会員研修会  
を開催…………… 6  
第57回埼玉県公衆衛生大会開催される…… 7  
韓国における豚コレラの発生に伴う畜産関  
係者等への指導の徹底について…………… 9

#### 会務報告

- 第3回狂犬病予防委員会…………… 10  
第4回理事会…………… 10

#### 予告

- さいたま市支部学術講習会のお知らせ…… 12  
テレビ埼玉にて高橋会長新春年頭挨拶…… 12

#### 新入会員報告

- 新入会員紹介…………… 13

#### ひろば

- 新入会員の抱負…………… 13  
南第一支部・南第二支部合同学術講習会  
開催報告…………… 14  
さいたま市支部学術講習会開催報告…… 14

- 西支部学術講習会開催報告…………… 15  
北支部・八日会合同学術研修会開催報告 … 15  
第22回県獣ボウリング同好会親睦大会  
結果報告…………… 16  
第124回埼玉県獣医師会ゴルフ同好会  
コンペ報告…………… 17

#### お知らせ

- 埼玉県獣医師会ボウリング大会開催の  
お知らせ…………… 18  
平成25年度日本獣医師会委託講習会  
(群馬県・神奈川県) 開催のお知らせ … 19

#### 切り抜きニュース

- 愛犬家のマナー向上  
－ 駅構内で啓発活動－…………… 20  
心癒やすセラピー犬  
－ 入院の子に笑顔・小児医療センター－ … 20

- 埼玉県獣医師会学術広報版 …………… 22

#### 事務局より

- 事務局メモ…………… 23

- 編集後記…………… 24

# 公益社団法人 埼玉県獣医師会 会員憲章

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は、それぞれの職域において、その責務を遂行し、県民の福祉増進に寄与するため、ここに会員憲章を定めます。

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は

1. 動物の生命を守り、ひとびとの生活を豊かにしよう
1. 獣医学術を研鑽向上し、確信を持って業務に邁進しよう
1. 動物愛護思想を向上し、心豊かな生活をしよう
1. 環境衛生を向上し、福祉増進の実をあげよう
1. 職域を尊重し、倫理の昂揚をはかろう

## お知らせ

埼玉県獣医師会公益社団法人移行記念

# 新春懇談会開催のご案内

公益社団法人埼玉県獣医師会

本懇談会は日頃、集合狂犬病予防注射業務等でお世話になっている市町村長等もお招きし開催しますので、多くの会員の皆様のご出席をお願いします。（会費：会員は無料）

なお、準備の都合上、出欠席について、平成26年1月17日（金）までに、本会報に同封の「出欠席報告書」により、事務局まで報告して下さい。（FAX、又はメール）

### 開催の趣旨

公益社団法人への移行という大きな節目に当たり、日本獣医師会との連携・連帯を一層深めるとともに、日頃から獣医療並びに獣医師会活動にご指導、ご支援を賜っている幅広い関係者をお招きし、獣医師会会員との交流を通じて、埼玉県獣医師会の新たな発展を図る。

**日 時** 平成26年2月6日（木）  
午後1時15分～（受付 午後0時45分～）

**場 所** 大宮ラフォーレ清水園  
さいたま市大宮区東町2-204

### 内 容

#### 第1部 記念講演（3階 孔雀の間）

午後1時15分～午後2時20分

(1) 獣医師会の目指すべき方向（仮題） 日本獣医師会会長 藏内勇夫 先生

(2) 大学病院から見た動物病院の望ましい在り方（仮題）

東京大学大学院教授 附属動物医療センター長 辻本 元 先生

対象者 埼玉県獣医師会会員・賛助会員等

#### 第2部 交流会（3階 光琳の間）

午後2時30分～午後4時30分

内 容 開会挨拶、来賓祝辞、感謝状贈呈（公益法人移行関係支援者）、懇談等

参集者 埼玉県知事、さいたま市長、県選出の衆・参国會議員

県及びさいたま市議會議長、同議會議員、

県内市町村長、農林・商工・金融等関係機関の長

県関係行政機関の長、関東・東京地区獣医師会会長

埼玉県獣医師会会員・賛助会員 等

合 計 約250名

## (公社)埼玉県獣医師会 狂犬病予防対策に関する講習会を開催

平成25年12月12日(木)午後1時45分から、さいたま市「大宮法科大学院大学」2階講堂において「狂犬病予防対策に関する講習会」を開催しました。

これまでの講習会は、集合狂犬病予防注射の的確な実施に向けて開業会員を対象に「集合注射実施者講習会」として開催しておりました。しかし、今年、台湾において狂犬病が確認されるなど、わが国への侵入が危惧されるなか、改めて狂犬病に対する理解を深めてもらおうと、今回は、勤務会員や県・市町村の行政機関職員、関東地区獣医師会などに参加範囲を広げ、講習会の名称も変更して開催いたしました。

講習内容は、二部制とし、第一部は、日本獣医師会の委託事業「獣医公衆衛生講習会」を兼ねて開催したもので、行政機関職員などを含め、多くの方々に聴講して頂きました。また、第二部は、開業会員を対象として会長講話を中心に開催いたしました。

### 開会

第一部には、会員や県・市町村職員などを含め378名もの多くの方々に参加していただきました。長谷川繁雄狂犬病予防副委員長の司会により進行され、中村滋副会長の開会の後、高橋会長から「本日の講習会は日本獣医師会の生涯教育研修にも位置づけ、講師には、狂犬病の第一人者である井上智先生と佐藤克先生にお願いした。会員をはじめ行政機関等、多くの方々に参加いただき開催することができたことに感謝している。

日本獣医師会は藏内新会長となり、獣医師会を取り巻く諸課題の解決に取り組んでいる。特に、狂犬病予防事業については、実効性の確保と充実・強化を図るため、特別委員会を設置するとともに、人と動物の共



主催者挨拶をする高橋三男会長

通感染症対策に向け、獣医師会と医師会とが学術面で連携していくこととし協定書を取り交わした。また、女性獣医師の活用支援なども進めていく。

獣医師の職域は広く、職域間の連携を強化しながら地域に密着した活動を通じて社会に貢献していきたい。」との挨拶がありました。

続いて、司会者から講師が紹介され講演に入りました。



講演する井上智先生

#### 講演

初めの講演は、「狂犬病の現状と今後の課題」と題しまして、今年、台湾で発生が確認された狂犬病の感染状況を中心に国立感染症研究所獣医科学部室長の井上智先生にお願いしました。講演内容は次のとおりです。

台湾は死亡した野生動物を検査した結果、7月17日に狂犬病陽性が確認されたと発表した。

原因のイタチアナグマは、東南アジアの標高100m以上の山林に生息し、狂犬病に感染しやすい動物に分類されている。

台湾で陽性が確認されている地域は、中央、南部、東部の山岳地帯に限局しており、感染は拡大していない。東部の台東県で、咬傷を受けたジャコウネズミと犬で感染した以外は、陽性は全てイタチアナグマである。感染地域でのワクチン接種はペットではほぼ100%完了しており、危険性のある動物と接触した人にもワクチン接種が推進されている。

1961年に清浄化した台湾は、野犬等のモニタリング調査を1999年から行っていたが、今年から野生動物の調査も開始し陽性確認された。これまでに983検体を検査し258頭（12月11日現在）が陽性であった。

2010年に死亡した検体でも陽性が確認されており、また、遺伝子検査では3種類のタイプが確認されていることから、かなり以前から感染があったものと推定される。

野生動物へのワクチンネーション対策として経口ワクチンの開発が準備されている。

日本では、狂犬病への対応は、2001年に作成されたガイドラインによるが、動物の異常確認後とその後の対応（1週間での原因特定と6ヶ月間の監視）について2013年にガイドラインに追加された。動物の異常を最初に発見するのは、臨床獣医師になるので、常日頃から、犬の観察方法を理解し注意を払う心構えが重要である。



講演する佐藤克先生

続いて、狂犬病臨床研究会会長 佐藤克先生には「犬・猫の狂犬病の徴候と臨床診断」と題して、狂犬病に感染した犬や猫の臨床上の判断基準について、海外の症例の映像（狂犬病臨床研究会編「犬狂犬病の症状と臨床診断方法の一例」から）を交えながらお話をさせて頂きました。講演内容は次のとおりです。

狂犬病は、診断が下されると、狂犬病予防法に基づき行政が対策を講じていく。臨床獣医師はこの対策に協力する責務がある。

臨床獣医師は、症状から狂犬病を疑うこととなるが、臨床診断が適切であれば疑いのある動物だけを確定診断すれば良いことになる

ので早期対応が可能となる。

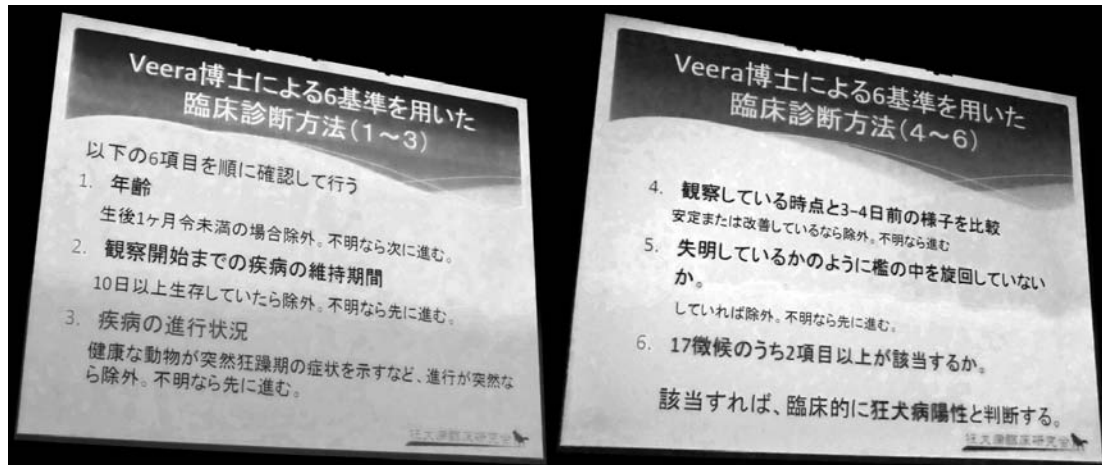
臨床の現場では、病状のステージにより症状は多様であり、臨床経過を正しく理解しておかねばならない。潜伏期間は、通常2週間から2ヶ月だが、最長で6ヶ月の場合もあり、検疫期間はこれに合わせてある。



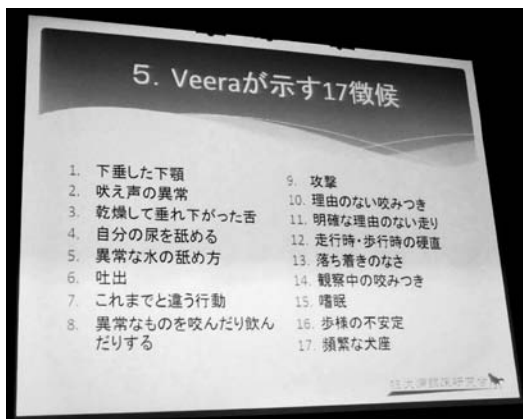
臨床検査方法が確立していない上、症状が多様で決め手に欠くが、2005年にVeera博士により6項目の基準を用いた狂犬病の診断方法が示された。この診断による精度は94.6%であった。

6項目の診断基準のうち、6番目の基準は、徴候を確認するものだが、17徴候のうち2項目が該当すれば狂犬病と診断できるとしている。

清浄国のわが国では、これらの基準に加え、ワクチン歴や輸入歴、他の動物との接触歴を確認することが必要となる。



スライドから 「6基準を用いた臨床診断方法」



スライドから 「17徴候」

猫の狂犬病については、9割が狂躁型となり、犬の咬傷が原因で感染する。猫においても異常が確認されれば、獣医師は狂犬病予防法により届け出ることになる。

また、佐藤先生は日ごろから、観察のトレーニングを積むことに加え、咬傷事故にはしっかり対応しておくことが重要であるとお話をされ、これに関連して、会場からは、衛生支部の茂木修一先生が、最近の本県における咬傷事故件数は横ばいであり、事故を起こした飼い主には、保健所への届出

と獣医師による鑑定を県条例で求めているとの補足説明をされました。

参加者は最後まで熱心に聴講され、第一部は終了しました。

## 会長講話

休憩の後、午後3時30分から、開業会員を対象とした高橋三男会長の講話が行われました。

①獣医師会の行う狂犬病予防注射事業や、②消費税率引き上げに伴う集合注射料金について、③獣医師倫理について、④動物病院間のネットワークに関する考え方、⑤獣医事を巡る情勢等、非常に幅広い観点からの資料を用意され、会長や副会長更に委員長等として長年取り組んできた経験を基に、獣医師会のあるべき姿等について講話されました。

特に、狂犬病予防事業については、戦後の混乱期の昭和25年、議員立法による狂犬病予防法制定の経緯や



聴講者で満員となった大学講堂

集合注射の実施などについて触れながら、これまでの注射料金の変遷や値上げの背景、実施頭数の推移など、詳細に説明されました。

また、消費税率引き上げに伴う集合狂犬病予防注射料金については、既に理事会や狂犬病予防委員会において幅広い観点から検討しているが、基本的には、

消費税率引き上げに伴い、注射料金も値上げすべきであるが、安価な料金で予防注射を実施する動物病院の台頭や注射料金に対する住民感情など昨今の社会情勢や獣医界を取り巻く環境変化の下では、慎重に取り扱うことが肝要である、と述べました。

これに関連して、参加者からは、消費税率の引き上げ分、当然注射料金も引き上げるべきであるとの意見や、獣医師会を巡る情勢等考慮すると、当面据え置きとし、埼玉県獣医師会の行う集合注射への理解を求めることが得策であろう、等との意見が出され、今後、これまでの検討経過や、本日の意見も踏まえ、理事会に於いて決定して行くこととされました。

## 事務連絡

会長講話の終了後、八木狂犬病予防委員長から集合狂犬病予防注射実施にあたっての留意事項について次のとおり説明がありました。

- ① 必要書類の提出について速やかに処理すること。
- ② 平成26年度集合狂犬病予防注射実施希望者（辞退者）は、2月14日までに希望等届と契約書を班長に提出すること。
- ③ 班長は2月21日までに支部長に提出すること。
- ④ 支部長は2月28日までに事務局に提出すること。

また、新井宣明学術委員長から平成26年2月7日（金）から9日（日）にわたり、パシフィコ横浜で開催の日本獣医内科学アカデミーの参加について案内がありました。

## 閉会

小暮一雄副会長が閉会のことばを述べられ、午後4時50分、閉会となりました。

## 平成25年度 埼玉県獣医師会 新入会員研修会を開催

平成25年11月21日(木)、「埼玉県農業共済会館」会議室において開業部会及び勤務部会両運営委員会による新入会員研修会を開催しました。

午後1時30分から開始された研修会は、全ての新入会員を対象とした全体研修会と、途中、休憩を挟んで開業支部会員を対象とした開業支部研修会が実施されました。



新入会員を前に全体研修会で挨拶する高橋三男会長

### 1 全体研修会

中村滋副会長の開会の言葉に続き、高橋三男会長から、埼玉県獣医師会への入会を祝すとともに、「獣医師の職域について、戦後の食料増産の頃は、畜産振興のために家畜の診療や衛生指導が中心であったが、経済成長につれて生活にゆとりが出てくると家庭にペットが普及しはじめ、犬猫などの診療へと移ってきた。この間、獣医学の進歩は目覚しく、獣医師には絶えず新しい技術や知識の吸収が求められる中、皆さん方には、是非、勉強の場として埼玉県獣医師会を活用願いたい。会員相互間で診療業務の問題を共有し、また、各々の得意分野での連携を深めることで技術研鑽や経営力の向上に結び付けてもらいたい。「獣医師会が何をしてくれるのか」ではなく、皆さんが「獣医師会のために何ができるのか」を考えて行動すれば、獣医師会は必ず応えてくれる。次代を担う皆さん方の仲間が、今後、益々、増えていくことを期待する。」との挨拶がありました。

続いて、出席している役員と新入会員から自己紹介を頂いた後、獣医師倫理や定款などの全般的な内容について次のとおり研修が行われました。

- ① 獣医師のあり方について（中村滋開業部会第1運営委員長）
- ② 埼玉県獣医師会会員憲章について（三森信行総務委員長）
- ③ 定款・諸規程について（三森信行総務委員長）
- ④ 獣医師倫理について（長澤泰保獣医事調査委員長）
- ⑤ 獣医師関係法令について（金子文男勤務部会運営委員長）



## 2 開業支部会員研修会

午後3時20分からは、開業支部会員のみを対象にして、開業獣医師にとって必要な法律手続きや診療業務にあたっての心構え、集合狂犬病予防注射事業の事務手続きなどについて研修が行われました。

特に、顧問税理士の間嶋先生には、動物病院での雇用の機会が増すなか、従来の税務関係に加え社会保险制度や労働基準法などの雇用関係の講義をお願いいたしました。

- ① 雇用・税務関係について（顧問税理士 間嶋順一先生）
- ② 開業獣医師に係る関係法令について（小暮一雄開業部会第2運営委員長）
- ③ 集合狂犬病予防注射の実施（要領及び事務取扱）について（中村滋副会長）

今回の研修会には、お忙しい中、16名の新入会員（開業9名（対象者9名）、勤務7人（対象者17人））が出席されました。参加者は配布された多くの資料に目を通しながら経験豊かな役員の先生方の講話に聞き入り、午後5時まで熱心に受講されていました。

## 第57回埼玉県公衆衛生大会開催される

平成25年11月22日（金）午後2時から、さいたま市のさいたま共済会館6Fホールにおいて、第57回埼玉県公衆衛生大会が開催され、本会の5名の先生方が「公衆衛生事業功労者」として埼玉県知事表彰を受賞されました。

当日は、主催者の上田清司埼玉県知事から「公衆衛生活動に関わる方々のこれまでの尽力により、日本は、世界一の長寿社会を実現することができた。今後、長寿社会での働き手を確保するため、シニア世代が頑張り、女性の活躍の場を広げ、技術革新で生産性を上げることが必要である。皆様にはそれぞれの立場で、県民の健康維持のため一層、御活躍願いたい。」との御挨拶がありました。

続いて、公衆衛生事業功労者（93名）や功労団体などの受賞者のお名前が紹介され、知事から受賞者代表に表彰状が授与されました。

来賓の細田徳治埼玉県議会議長並びに金井忠男埼玉県医師会会長が祝辞を述べられた後、高橋三男埼玉県獣医師会会長をはじめ保健医療関係団体の会長が紹介されました。

式典終了後、知事を囲んでの記念撮影が行われ、公衆衛生大会は午後2時40分に閉会しました。

本年度、受賞の栄に浴された（公社）埼玉県獣医師会会員の先生方は次のとおりです。誠におめでとうございます。

### 公衆衛生事業功労者表彰受賞者

|         |                |         |         |       |
|---------|----------------|---------|---------|-------|
| 清野真吾 先生 | さいたま市支部（さいたま市） | 川田隆作 先生 | 北支部     | （深谷市） |
| 植原利志子先生 | 南一支部           | （川口市）   | 竹田 誠 先生 | 東支部   |
|         |                |         |         | （久喜市） |
| 細井 才 先生 | 西支部            |         |         | （嵐山町） |



前列左から 4人目、高橋三男会長、上田清司埼玉県知事、細田徳治埼玉県議会議長  
 中段右側、植原利志子先生（南第一支部）  
 後列左から 3人目、清野真吾先生（さいたま市支部）、細井才先生（西支部）



川田隆作先生（北支部）



竹田誠先生（東支部）

25日獣発第240号

平成25年12月10日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会

会長 藏内 勇夫

(公印及び契印の押印は省略)

## 韓国における豚コレラの発生に伴う畜産関係者等への 指導の徹底について

このことについて、平成25年12月2日付け25消安第4226号をもって、農林水産省消費・安全局動物衛生課長から別添のとおり通知がありました。貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

このたびの通知は、①本年11月28日付けで、韓国政府から国際獣疫事務局（OIE）に対し、豚コレラの発生が確認された旨の通報があったこと、②これから年末年始及び旧正月を迎え、人・物の移動が盛んになり、我が国へのウイルスの侵入リスクが高まることが危惧されることから、改めて豚コレラの発生予防措置の徹底及び監視体制の強化を図るとともに、これらについて畜産関係者等への指導の徹底を依頼した旨、各都道府県畜産主務部長宛てに通知したことについて、了知の上、本会会員に周知徹底と、円滑な防疫対策の実施について協力を依頼されたものです。

併せて、今後も海外における豚コレラ等家畜伝染病の発生状況等の必要な情報を、農林水産省ホームページ等を通じて積極的に公開するので、防疫体制の更なる充実のため、活用されたいとのことです。

### <農林水産省ホームページ>

URL： <http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/index.html>

### <OIEホームページ>

URL： [http://www.oie.int/wahis\\_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=14448](http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=14448)

※ 別添 略

**会 務 報 告****第 3 回 狂犬病予防委員会**

平成25年12月12日(木)12時00分から、さいたま市「大宮法科大学院大学」において次の事項を協議した。

**1 会長挨拶**

本日の「狂犬病予防対策に関する講習会」は、日本獣医師会の委託事業「獣医公衆衛生講習会」にも位置づけており、本会会員に加え、関東・東京地区の地方会、県、市町村にも参加して頂くこととしている。有意義な講習会となるよう、委員の皆様には運営等へのご協力をよろしくお願いする。

また、消費税率引き上げに伴い、注射料金は、基本的には値上げすべきではあるものの、社会情勢等から慎重に取り扱う必要があるものと思料するところである。

**2 協議事項****(1) 「狂犬病予防対策に関する講習会」の開催について**

講習会の進め方について協議するとともに、平成26年度集合注射の実施に向けた事務手続き等について再確認した。

実施希望（辞退）届並びに契約書提出のスケジュールについて

- ① 配布 本日の講習会にて各委員、班長から配布
- ② 班長への提出期限 2月14日（金）
- ③ 班長から支部長への提出期限 2月21日（金）
- ④ 支部長から事務局への提出期限 2月28日（金）

**(2) 市町村との実施契約書の締結について**

平成26年度集合狂犬病予防注射の実施に向けて、「公益社団法人」移行等に伴う市町村長との実施契約書の締結事務手続きの手順について説明がされた。

**第 4 回 理事会**

平成25年12月18日(水)午後3時から、さいたま市「さいたま市岩槻区役所」会議室において次の事項を審議した。

**1 会長挨拶**

今年一年、各事業は順調に進展してきた。また、先日開催した「狂犬病予防対策に関する講習会」は、狂犬病では我が国の第一人者を講師に招き、満席の中で開催できた。

また、集合狂犬病予防注射料金の消費税率改正への対応については、これまで、理事会や狂犬病予防委員会において検討してきたが、本日は、各支部の意見も十分踏まえ、対応を決定したい。

**2 報告事項****(1) 前理事会後に開催された委員会等の報告**

各委員長から次のとおり報告された。

ア 新入会員研修 新入会員16名が出席し、獣医師倫理や法律手続きなどについて研修（11月21日）

イ 第2回狂犬病予防委員会 「狂犬病予防対策に関する講習会」の開催計画並びに消費税率改正に伴う注射料金について（11月26日）



ウ 第3回狂犬病予防委員会「狂犬病予防対策に関する講習会」の運営並びに市町村との実施契約締結の手順などについて（12月12日）

エ 「狂犬病予防対策に関する講習会」 378名の参加により開催された。（12月12日）

(2) 「日本獣医師会 蔵内会長を激励する会」の開催概要の報告

11月20日に標記の会が、多くの国会議員等が臨席されるなか開催された。

また、この会の開催に先立ち、「日本医師会と日本獣医師会の学術協力の推進に関する協定書」が締結された。

### 3 議決事項

第1号議案 集合狂犬病予防注射実施班長の変更承認に関する件

南第一支部朝霞班の班長の変更について承認された。

第2号議案 消費税率改正に伴う集合狂犬病予防注射料金に関する件

10月31日開催の第3回理事会及び11月26日の第2回狂犬病予防委員会での協議や12月12日の狂犬病予防対策講習会等での発言等も踏まえ、各理事（支部長）の意見等を求め、今後の集合狂犬病予防注射料金について審議。

基本的には、消費税率に連動し注射料金についても引き上げるべきではあるが、獣医界を取り巻く昨今の社会情勢や市民意識の多様化の中で安易な引き上げは、獣医師会や獣医療に対する不信感の高まり等も懸念される。そのため、将来的には注射料金の改定も含め引き上げに向け再度検討しつつも、当面は、会員の特段の理解と協力を頂く中で自助努力に努めることにより、現状のまま据え置き、埼玉県獣医師会の行う集合狂犬病予防注射に対する理解と公益団体としての会の存在を強く示すことが適切である。なお、公益法人会計の中で狂犬病関連事業は区分会計されているので、これに伴う必要な財源確保については、集合狂犬病予防注射出場獣医師全員の技術料の中から注射頭数に応じて控除させて頂くことが承認された。

第3号議案 公益社団法人移行に伴う集合狂犬病予防注射実施要領の一部改正に関する件

「社団法人」から「公益社団法人」への移行に伴い、「集合狂犬病予防注射実施要領（最終改正 平成17年12月15日）」の「法人名」を変更することが承認された。

### 4 協議事項

(1) 平成26年度集合狂犬病予防注射事業推進に関する件

「公益社団法人」への移行に伴い、市町村と取り交わしている「集合狂犬病予防注射実施契約書」の「法人名」の変更手続きを今後行っていくことが確認された。なお、市町村との円滑な契約締結に向け、本日の理事会で承認された「注射料金は据え置く（現行どおりとする）こと」、並びに「今後の契約締結」について市町村長あて、「お願い」文書を発することとされた。

また、4月からの集合狂犬病予防注射実施に向けたスケジュールが確認された。

(2) 埼玉県獣医師会新春懇談会（仮称）に関する件

埼玉県獣医師会の公益社団法人への移行を記念し、2月6日（木）、「大宮ラフォーレ清水園」に於いて、日本獣医師会 蔵内勇夫会長及び東京大学大学院 辻本元教授の記念講演会、並びに幅広い関係者をお招きし、会員との交流会を開催することが決定された。

(3) 埼玉県獣医師会ボウリング大会開催に関する件

「埼玉県獣医師会ボウリング同好会」の協力の下、厚生委員会の主催によるボウリング大会を、2月11日（火・祝）、「スポーツ浦和国際ボウル」に於いて開催することが決定された。

(4) その他

会員の御厚意により、獣医師会で保管している学術用ビデオテープのデジタル化を情報検討委員会並びに学術委員会の事業として進めていることが報告された。

## 予 告

## さいたま市支部学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2 (2))

さいたま市支部長 新井 宣明

さいたま市支部では、平成26年1月13日(月・祝)に日本大学の枝村一弥先生をお招きして「リハビリテーションってどうなの?～何をどのようにして行うか最新知見を交えて～」と題して講習を行います。

多くの先生方のご参加をお待ちいたします。

日 時 平成26年1月13日(月・祝) 13:30～16:30

場 所 With You さいたま  
さいたま市中央区新都心2-2  
TEL048-601-3111

演 題 「リハビリテーションってどうなの?」  
～何をどのようにして行うか最新知見を交えて～

講 師 日本大学 枝村一弥 先生

参加費 埼玉県獣医師会会員 無料  
会員以外の受講者 5,000円



## —— テレビ埼玉で放映 ——

### 高橋会長「彩の国」新春年頭挨拶

とき…平成26年1月2日(木)

午前11時55分～12時00分

テレビ埼玉



## 新入会員報告

## 新 入 会 員



あいざわ けいすけ  
相澤 啓介  
ふじみ野市在住  
団体支部



さだつき えりこ  
定月 英理子  
東京都板橋区在住  
団体支部

## 勤務部会

| 支 部 名 | 氏 名       | 診療所名（勤務先）    |
|-------|-----------|--------------|
| 団 体   | 相 澤 啓 介   | 朝霞市・あさか台動物病院 |
| 団 体   | 定 月 英 理 子 | 朝霞市・あさか台動物病院 |

## ひろば

## 新入会員の抱負

## 埼玉県獣医師会に入会して

北支部 高野 宜彦  
(さいたま博通り動物病院)



ロゴマークを背景に

今年度より埼玉県獣医師会に入会致しました、「さいたま博通り動物病院」の高野と申します。

平成17年に麻布大学を卒業し、埼玉県と東京都の動物病院にて約8年間、勤務医として過ごし、今年の2月、自身の故郷であります熊谷市に開業致しました。

東京で勤務を始めた頃より循環器疾患に興味を抱き、現在も東京農工大学の循環器科に研修医として在籍し、日々研鑽に努めております。

休日はアウトドアを趣味にしているため、自宅に居ることは余りなく、専らどこかの山に登っています。山の頂から見る景色は格別に素晴らしく、11月は特に紅葉が綺麗でした。

獣医師会の活動と致しましては、先日、新入会員の研修会に参加させて頂き、高橋会長を初め、諸先生方より会員獣医師としての心得、顧問税理士様より雇用や税務の基礎など拝聴しました。開業獣医師として心機を新たにすると共に、一人の経営者として学ぶことの多さに身の引き締まる思いが致しました。

まだまだ浅学非才の身でありますので、諸先輩方にはご迷惑をお掛けすることも多々あろうかと存じますが、ご指導、ご鞭撻のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

## 南第一支部・南第二支部合同学術講習会開催報告

南第一支部長 田中 裕  
南第二支部長 長澤 泰保

南第一支部、南第二支部では11月17日(日)に、「さいたま共済会館」において合同学術講習会を開催いたしました。

講師として日本獣医生命科学大学の皆上先生をお招きして、「よくある細胞診の見方と考え方のシリーズ」の2回目として、皮膚腫瘍の細胞診についてご講演いただきました。

最初に表皮および付属器、真皮、皮下組織(脂肪組織)の非腫瘍性腫瘍や腫瘍について解説いただきました。表皮嚢胞、基底細胞腫、扁平上皮癌、皮脂腺腫、肛門周囲腺腫、脂肪腫、メラノーマなどの臨床像、細胞の特徴などをわかりやすくご教授いただきました。

次に肥満細胞腫や組織球腫などの独立円形細胞による腫瘍の特徴、診断のフローチャートや分類、挙動などを教えていただきました。

最後に実際のさまざまな体表腫瘍の症例をスライドでご紹介いただきました。

私たち、臨床獣医師が実際に飼い主さんから「出来物ができた」と主訴を受けることは良くあります。こうした場合、「大きくなるか様子を見てみましょう。」ではなく、積極的に腫瘍に針を刺して細胞診を行うことで、診断に結び付き、また、マージンの大きさなどを考慮した手術の計画を立てた上で飼い主さんにインフォームドコンセントを行うことができます。難しい器具も必要の無い検査ですから、ぜひ積極的に細胞診を行おうと感じました。

皆上先生にはお忙しい中、今回も短い時間で内容の濃い大変有意義な講演をいただきました。また、お忙しい中ご参加いただいた多くの先生方にも感謝申し上げます。

### <参加者内訳>

| 出席者 | さいたま市支部 | 南第一支部 | 南第二支部 | 西支部 | 北支部 | 東支部 | 団体支部 |
|-----|---------|-------|-------|-----|-----|-----|------|
| 46名 | 7名      | 14名   | 8名    | 3名  | 1名  | 5名  | 8名   |

## さいたま市支部学術講習会開催報告

さいたま市支部学術委員 柏瀬 匠

11月24日(日)さいたま市支部では、「With You さいたま」において、日本大学の坂井学先生をお招きし、「犬の慢性肝炎の診断と治療」というテーマでご講演いただきました。

好発犬種、腹部超音波検査の有用性とその手技、肝生検の適用と着眼点、門脈圧亢進症に対する考え方、そして薬物療法や食事療法、サプリメントの使用方法など、症例の紹介をおりまぜながら解説していただきました。

坂井先生、またご参加いただきました先生方に感謝申し上げます。

さいたま市支部では来る1月13日(月・祝)に日本大学の枝村一弥先生に「リハビリテーションってどうなの?～何をどのようにして行うか最新知見を交えて～」と題してご講演いただく予定です。

多くの先生方のご参加をお待ちいたします。

### <参加者内訳>

| 出席者 | さいたま市支部 | 南第一支部 | 南第二支部 | 西支部 | 北支部 | 東支部 | 団体支部 | 会員外 |
|-----|---------|-------|-------|-----|-----|-----|------|-----|
| 37名 | 24名     | 4名    | 2名    | 0名  | 0名  | 2名  | 3名   | 2名  |



## 西支部学術講習会開催報告

西支部学術委員 矢萩 智男

11月24日(日)「川越市南文化会館ジョイフル」において、学術講習会を開催いたしました。

今回は、くにたち動物病院 遠藤雅則先生をお招きして「点眼薬の使い方」と題してご講演をいただきました。

角膜疾患と緑内障を中心に、診療室ですぐに活用できる備えておくべき点眼薬や使用法をご教授いただきました。

日々の診療とご講演でお忙しい中、貴重なご講演をいただきました遠藤先生に、深くお礼申し上げます。また、ご参加くださったたくさんの先生方にも、合わせて感謝いたします。

西支部では今後以下のような講習会を企画しております。

3月23日(日)

内分泌を極める 糖尿病疾患の診断と治療のアップデート

東京大学 松木直章先生

松木先生には来年度もシリーズとして、甲状腺および副腎をテーマに2回の講演を予定しております。たくさんの先生方のご参加をお待ちします。

### <参加者内訳>

| 出席者 | さいたま市支部 | 南第一支部 | 南第二支部 | 西支部 | 北支部 | 東支部 | 団体支部 |
|-----|---------|-------|-------|-----|-----|-----|------|
| 44名 | 2名      | 1名    | 1名    | 34名 | 0名  | 2名  | 4名   |

## 北支部・八日会合同学術研修会開催報告

北支部長 大橋 邦啓  
八日会会長 湯本 哲夫

北支部・八日会合同学術研修会を、「本庄市児玉文化会館セルディ」にて12月1日(日)に開催いたしました。今回、日本大学生物資源科学部獣医学科獣医外科学教室専任講師 枝村一弥先生をお招きし、「ふらつきや背部痛のある動物を、どう診断し、どう治療するか?」というテーマでご講演をいただきました。

枝村一弥先生には短い時間内に盛りだくさんの講演依頼で、ご無理・ご迷惑をおかけいたしましたが、ご参加いただきました先生方にとっては、たいへん有意義な研修会となったものと思います。

### <参加者内訳>

| 出席者 | さいたま市支部 | 南第一支部 | 南第二支部 | 西支部 | 北支部 | 東支部 | 団体支部 | 会員外 |
|-----|---------|-------|-------|-----|-----|-----|------|-----|
| 32名 | 0名      | 0名    | 1名    | 4名  | 20名 | 1名  | 2名   | 4名  |

## 第22回 県獣ボウリング同好会親睦大会 結果報告

県獣ボウリング同好会事務局 斎藤 和也

ボウリング同好会の親睦大会が、11月30日(土)午後8時30分からスポーツ浦和国际ボウルにて開催されました。

会員・家族・スタッフ、総勢20名の熱き選手が寒気団に負けず集結しました。

|     |                         | スクラッチ | ハンディ | 合計   |
|-----|-------------------------|-------|------|------|
| 優 勝 | 布川香奈江さん(南第一支部・ぬのかわ動物病院) | 521点  | 69点  | 590点 |
| 準優勝 | 滝沢直樹さん(さいたま市支部)         | 583   | 0    | 583  |
| 3 位 | 伊藤 仕さん (さいたま市市議)        | 414   | 150  | 564  |

ハイゲーム 男子・滝沢直樹さん(さいたま市支部) 200点

女子・布川香奈江さん(南第一支部・ぬのかわ動物病院) 182点

優勝はほんとうに久しぶりに、ぬのかわ動物病院院長夫人の布川香奈江さんでした。優勝賞品は、ディズニールンドペアチケット、今年のクリスマスには旦那さんとお出かけくださいませ。

そして今回は初参加者として、アイ動物病院の小林奈央さんと協賛会員としてボウリング大好きな、さいたま市議会議員の伊藤仕さん・吉田和浩さんが新しく仲間入りしました。

賞品の提供をいただきました、株式会社アスコ、森久保薬品株式会社、アクティ株式会社、株式会社大宮武蔵野ペット霊園の各社に御礼申し上げます。



喜びの優勝 布川香奈江さん



左から 準優勝の滝沢直樹さん、優勝した布川香奈江さん、3位入賞の伊藤仕さん

次回は平成26年2月11日(火・祝)に、埼玉県獣医師会主催のボウリング大会が開催されます。ボウリング同好会としましてはこの大会が楽しい会員の親睦の会になりますよう、準備や進行に協力いたしますので、よろしくおねがいします。

## 第124回埼玉県獣医師会ゴルフ同好会コンペ報告

埼玉県獣医師会ゴルフ同好会 会長 斎藤 和也  
幹事 斉藤 良幸  
田口 修

去る12月5日(木)、東松山市の清澄ゴルフクラブにおいて総勢28名で第124回埼玉県獣医師会ゴルフ同好会コンペが開催されました。

当日は快晴、無風、温暖の絶好のコンディションの中でのプレーとなり、戦略的なコースと高速グリーンに向かい、日頃の練習の成果を存分に発揮していただきました。

表彰式の後には恒例となったオークションも開催され、ドライバーやウエッジなどが落札され、楽しい懇親会となりました。

主な成績は以下のとおりです。

|      |         |         |                 |
|------|---------|---------|-----------------|
| 優 勝  | さいたま市支部 | 新井宣明 先生 | ネット73           |
| 準優勝  | さいたま市支部 | 斎藤和也 先生 | ネット73(グロス成績による) |
| 3 位  | 西支部     | 岡田かおり先生 | ネット74           |
| ベスグロ | さいたま市支部 | 小堺正人 先生 | グロス81           |



左から 3位入賞の岡田かおり先生、優勝した新井宣明先生、準優勝の斎藤和也先生



懇親会ではオークションも開催

なお、次回は新井宣明先生、斎藤和也先生の幹事のもと、3月6日(木)に鴻巣カントリークラブにて開催されます。

初参加や久しぶりの参加の先生を大歓迎していますので参加希望の方は幹事の先生までご連絡ください。

## お知らせ

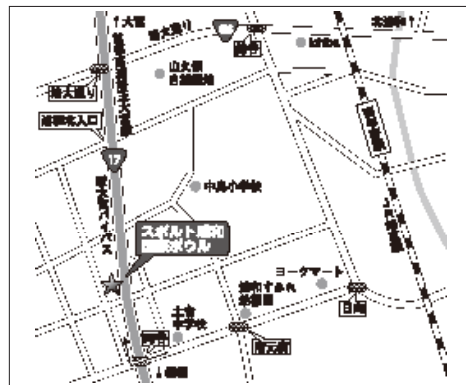
## 埼玉県獣医師会ボウリング大会開催のお知らせ

厚生委員会委員長 大橋 邦啓

厚生委員会がボウリング同好会の協力を得て、新たな企画として、埼玉県獣医師会主催「ボウリング大会」を次のとおり開催いたします。

多くの皆様に参加いただき、会員相互やご家族、関係者の皆様との親睦を深め、楽しい時を過ごして下さい。

- 1 日 時 平成26年2月11日(火、祝日)  
集 合 午後3時30分  
競技開始 午後4時
- 2 場 所 スポーツ浦和国際ボウル  
さいたま市桜区中島4-1-1  
電話 048-853-4921
- 3 参 加 費 1,500円(貸靴料は自己負担)
- 4 参加要件 会員とその家族及び従業員、賛助会員など
- 5 予定人員 60名(20レーン×3人=60人)
- 6 競技方法 一人2ゲームを投球し合計点で競います。  
年齢や性別等を考慮し、ハンディキャップを設定します。
- 7 表 彰 式 競技終了後、ボウリング場内にて行います。
- 8 参加申込 1月24日までに氏名と年齢、性別を各支部厚生委員に伝えてお申し込み下さい。



## 広告

動物病院・ペットショップなどのペット環境および施設の衛生管理に — ペットクリーンナビ

# PET CLEAN NAVI

M MORIKUBO



消臭・除菌  
ウイルス除去

## 二酸化塩素水

安心のペット環境づくりに。  
同梱のタブレットを溶解してご使用ください。

## 電解アルカリイオン水

洗浄・除菌

ペットと環境に優しいのに驚きの洗浄力！  
二度拭きいらずの洗浄・除菌水。



スプレー各1本入り  
のお得なセット



【容 量】 各 100 mL

**M 森久保薬品株式会社** 神奈川県厚木市栄町 1-8-17  
TEL: 046-222-2333(代)

東京: 042-564-2381 埼玉: 04-2968-0881 三郷: 048-948-2112 神奈川: 046-221-0620 ツクバ: 0296-43-1661

山梨: 055-224-5278 群馬: 027-230-3322 栃木: 028-666-3399 茨城: 029-241-3131 成田: 0476-40-5811 茂原: 0475-24-1613



# 平成25年度 日本獣医師会委託講習会（群馬県・神奈川県） 開催のお知らせ

公益社団法人 埼玉県獣医師会

日本獣医師会の委託による関東地区講習会が下記のとおり開催されますのでお知らせします。

## 1 管理獣医師の実践的な技術・知識を習得するための講習会

担当：群馬県獣医師会

日 時 平成26年1月16日（木）

13：30～16：30

場 所 群馬県獣医師会会議室  
群馬県高崎市日高町965  
電話：027-361-9241

講習内容

- (1) 乳房炎コントロールにおける次のステップ  
ーバルク乳モニタリングから始まるー  
農場管理獣医師協会  
三好志朗 先生
- (2) 農場管理獣医師の現状と役割について  
農場管理獣医師協会会長 北村直人 先生



## 2 日本獣医師会・小動物講習会（関東地区）

担当：神奈川県獣医師会

日 時 平成26年1月23日（木）

13：50～17：30

場 所 日本大学生物資源科学部  
神奈川県藤沢市亀井野1866  
電話：0466-84-3800

講演内容

獣医神経病学「神経学的検査法と脳腫瘍（仮題）」  
日本大学生物資源科学部獣医学科  
総合臨床獣医学研究室 准教授 北川勝人 先生



以上の講習会に参加を希望される先生は、事前に埼玉県獣医師会事務局まで御連絡ください。

電 話 048-645-1906

F A X 048-648-1865

メール s-vm@vesta.ocn.ne.jp

## 切り抜きニュース

## 愛犬家のマナー向上 駅構内で啓発活動 狂犬病予防対策協など 加須

愛犬家のマナー向上を図ろうと、加須市と加須狂犬病予防対策協議会は27日、東武伊勢崎線加須駅構内でキャンペーンを実施した。

市職員ら10人が犬の飼い主にマナーアップを呼び掛けた。賛同した38人の乗降客らが「ふんは必ず持ち帰る」などと記された宣言用紙に署名。オリジナル缶バッジなどの啓発グッズを受け取った。

県獣医師会によると、このような取り組みは県内自治体で初めてだという。

市はこれまで看板や広報紙などで犬のふんを放置しないよう注意喚起してきたが、全ての飼い主に徹底させるのは難しかった。街頭に立った市職員は「ふんだけでなく、ごみを捨てない、持ち帰るといったポイ捨てゼロの意識も広がってほしい」と話した。

8歳の犬を飼っているという女性（52）は「散歩の時、いつも同じ所にふんが残されていて気になる」とキャンペーンを歓迎した。宣言の受け付けや缶バッジの配布は市環境政策課、市内動物病院などでも行っている。

（丹羽良平）

埼玉新聞 11月30日



愛犬家マナーアップの呼び掛けに賛同した市民らが宣言用紙に署名をした＝加須駅

## 心癒やすセラピー犬 入院の子に笑顔 小児医療センター

さいたま市岩槻区の県立小児医療センターで、県立4病院では初の試みとして、「セラピードッグ」といわれる犬を使った「アニマルセラピー」が行われている。衛生面など厳格に管理されたセラピードッグたちは、センターに入院している子どもたちに癒やしと思いやりの心を育てる存在になっている。

アニマルセラピーは、入院患者と動物が触れ合うことで、長期入院のストレスを軽減させることを狙いとした療法。東京都内や千葉県の一部の病院で既に取り入れられており、患者たちの心を和ませている。動物と病院の組み合わせは欧米諸国では日常の風景だが、日本での普及はまだまだ進んでいないという。

同センターでは、月1回、さまざまな犬種のセラピードッグ5～8頭と、飼い主である獣医などが一緒に来院してアニマルセラピーを行うことを計画。センター内で議論を重ねた。

当初は衛生面への懸念から、導入に反対する声があった。そんな不安要素を取り除くため、先進的な取り組みを行っている病院の様子を視察。子どもたちが楽しそうに犬と遊んでいる様子や犬の実態を目の当たりにした。

セラピードッグは飼い主に厳格にしつけられ、



セラピードッグと触れ合う入院中の子どもたちーさいたま市岩槻区の県立小児医療センター

人懐っこいがどんなことにも動じない成犬のみが  
 なることができる。衛生面に対しても厳しい。犬  
 たちは必ず毎日歯磨きをし、病院を訪問する際  
 には必ず入浴するなどして身なを整えなければ  
 ならない。年に2回定期診断も受け、健康にも  
 気をを使う。こうした事実が分かるにつれ、反  
 対する声も少なくなっていくという。

9月からアニマルセラピーを開始。最初は、  
 患者の子どもたちも恐る恐る犬と触れ合ってい  
 たが、慣れてくると笑顔が見られるようになった  
 という。

10月に行われた2度目のアニマルセラピーで  
 は、真向かいの子どもに抱かれる小型犬を遠  
 目に眺めながら、「あれは僕たちのお気に入りの犬

んだ」とはにかむ少年2人組の姿も。少年たち  
 は前月のセラピーでお気に入りの犬ができ、手  
 紙も出したという。数分後、お気に入りの犬が  
 膝の上に乗ると、「かわいいね。また手紙書く  
 からね」と優しく語り掛ける。少年たちは犬  
 の存在に癒やされ、犬を思う気持ちを持つよ  
 うになっていた。

アニマルセラピーにセラピードッグの飼い主  
 として同行している獣医の柴内裕子氏は「動物  
 には優しい言葉を引き出せる力があり、相手  
 を思いやるということを教えてくれる」と力を  
 込める。

西本博副病院長は「セラピードッグたちには  
 子どもたちの精神面でのサポートを期待してい  
 る」と話していた。

(勇有花子)

埼玉新聞 11月10日

広告

## 漢方生薬17種類配合

動物用医薬品

## ペットの常備薬

しんなかもりじゅういさん

# 新中森獣医散®

PET MEDICINE  
SHIN NAKAMORI JUISAN

〔新発売〕

新中森獣医散®タブレット

(犬・猫用錠剤)

〔新製品〕

新中森獣医散®[Z]造粒散剤

犬、猫の消化器疾患、消化器衰弱、食欲不振  
 における症状改善。下痢における症状改善。  
 胃炎、消化器潰瘍、便秘、疝痛によく効きます。

包装：50g入、300g入

製薬創業1836年(天保7年)

製造販売元



中森製薬株式会社

宮崎県宮崎市佐土原町東上那珂17880-35

宮崎テクノリサーチパーク内

URL <http://www.nakamori-seiyaku.co.jp>

E-mail [nkmwebm@nakamori-seiyaku.co.jp](mailto:nkmwebm@nakamori-seiyaku.co.jp)

〒880-0303 TEL.0985-74-3337 FAX.0985-74-3420



国際特許(現在日本、中国)取得及び国際商標(日本、中国等)登録

# 平成25年度埼玉県獣医師会学術広報版

(平成25年12月20日現在)

| 年 月 日               | 産 業 動 物                                                                                      | 小 動 物                                                                                         | 公 衆 衛 生                                                                              |
|---------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 11月3日(日・祝)          |                                                                                              | 東支部<br>「皮膚病が治らない! どうしたら治るか考えてみよう」<br>アジア獣医皮膚科専門医 村山信雄 先生<br>(春日部市 春日部市商工振興センター アクシス春日部)       |                                                                                      |
| 11月8日(金)            | 北支部・八日会ほか畜産関係団体<br>「牛白血病ウイルス(BLV)感染症の現状と対策」<br>北海道大学 今内覚 先生<br>(本庄市 早稲田リサーチパークコミュニケーションセンター) |                                                                                               |                                                                                      |
| 11月17日(日)           |                                                                                              | 南第一支部・南第二支部<br>「よくある細胞診の見方と考え方」<br>日本獣医生命科学大学 皆上大吾 先生<br>(さいたま市 さいたま共済会館)                     |                                                                                      |
| 11月24日(日)           |                                                                                              | さいたま市支部<br>「犬の慢性肝炎の診断と治療」<br>日本大学 坂井学 先生<br>(さいたま市 With You さいたま)                             |                                                                                      |
| 11月24日(日)           |                                                                                              | 西支部<br>「眼科疾患における点眼薬の使い方」<br>くにたち動物病院 遠藤雅則 先生<br>(川越市 南文化会館)                                   |                                                                                      |
| 12月1日(日)            |                                                                                              | 北支部・八日会<br>「ふらつきや背部痛のある動物を、どう診断し、どう治療するか?」<br>日本大学 枝村一弥 先生<br>(本庄市 本庄市児玉文化会館セルディ)             |                                                                                      |
| 12月12日(木)           |                                                                                              |                                                                                               | 「狂犬病予防対策に関する講習会」<br>国立感染症研究所獣医科学部室長 井上智 先生<br>狂犬病臨床研究会会長 佐藤克 先生<br>(さいたま市 大宮法科大学院大学) |
| 12月15日(日)           |                                                                                              | 西支部<br>「猫の腫瘍の化学療法」<br>麻布大学 川村裕子 先生<br>(川越市 南文化会館)                                             |                                                                                      |
| 12月20日(金)           | 農林支部<br>平成25年度<br>埼玉県家畜保健衛生業績発表会<br>(さいたま市 埼玉会館)                                             |                                                                                               |                                                                                      |
| 平成26年<br>1月13日(月・祝) |                                                                                              | さいたま市支部<br>「リハビリテーションってどうなの? ~何をどのようにして行うか最新知見を交えて~」<br>日本大学 枝村一弥 先生<br>(さいたま市 With You さいたま) |                                                                                      |
| 2月21日(金)<br>~23日(日) | 平成25年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会 (千葉)<br>(千葉市 幕張メッセ (国際会議場))                                          |                                                                                               |                                                                                      |
| 2月                  | 農林支部<br>関東甲信越家保業績発表会(7日)<br>(さいたま市 大宮ソニックシティ)                                                |                                                                                               | 衛生支部<br>健康福祉研究発表会<br>食肉衛生技術研修会                                                       |
| 3月23日(日)            |                                                                                              | 西支部<br>「糖尿病診断と治療のアップデート」<br>東京大学 松本直章 先生<br>(川越市 南文化会館)                                       |                                                                                      |



## 事務局メモ

ホームページ会員専用ページ 入室は URL <http://www.saitama-vma.org/>

ID：SVMA（半角・大文字） パスワード：MITSUO（半角・大文字）

- |        |                                                 |           |                                                                    |
|--------|-------------------------------------------------|-----------|--------------------------------------------------------------------|
| 11月20日 | 公益社団法人日本獣医師会会長 藏内<br>勇夫氏を激励する会（東京都港区 明<br>治記念館） | 12月18日    | 第4回理事会（さいたま市 岩槻区役<br>所会議室）                                         |
| 11月21日 | 平成25年度新入会員研修会（さいたま<br>市 埼玉県農業共済会館）              | 12月20日    | 平成25年度埼玉県家畜保健衛生業績発<br>表会（さいたま市 埼玉会館）                               |
| 11月22日 | 第57回埼玉県公衆衛生大会（さいたま<br>市 さいたま共済会館）               | 平成26年     |                                                                    |
| 11月24日 | さいたま市支部学術講習会（さいたま<br>市 With Youさいたま）            | 1月7日      | 豊かな埼玉をつくる県民の集い（さい<br>たま市 パレスホテル大宮）                                 |
| 11月24日 | 西支部学術講習会（川越市 南文化会<br>館）                         | 1月13日     | さいたま市支部学術講習会（さいたま<br>市 With Youさいたま）                               |
| 11月26日 | 第2回狂犬病予防委員会（さいたま市<br>埼玉県農業共済会館）                 | 1月14日     | 知事と農林水産業団体長との懇談会<br>（さいたま市 知事公館）                                   |
| 12月1日  | 北支部・八日会合同学術研修会（本庄<br>市 本庄市児玉文化会館セルディ）           | 1月29日     | 平成25年度狂犬病予防協会研修会（桶<br>川市 さいたま文学館）                                  |
| 12月8日  | 政令指定都市及び東京都獣医師会連絡<br>協議会（さいたま市 ブリランテ武蔵<br>野）    | 2月6日      | 埼玉県獣医師会公益社団法人移行記<br>念新春懇談会（さいたま市 大宮ラ<br>フォーレ清水園）                   |
| 12月9日  | 日本獣医内科アカデミー関係学術懇談<br>会（さいたま市 大宮ラフォーレ清水<br>園）    | 2月7日～9日   | 日本獣医内科学アカデミー第10<br>回記念学術大会（神奈川県横浜市 パ<br>シフィコ横浜）                    |
| 12月11日 | テレビ埼玉「彩の国新春年頭挨拶」収<br>録（浦和ロイヤルパインズホテル）           | 2月11日     | 埼玉県獣医師会主催ボウリング大会<br>（さいたま市 スポーツ浦和国際ボウ<br>ル）                        |
| 12月12日 | 第3回狂犬病予防委員会（さいたま市<br>大宮法科大学院大学）                 | 2月21日～23日 | 平成25年度日本獣医師会獣医学<br>術年次大会（千葉）（千葉県千葉市<br>幕張メッセ、アパホテル&リゾート東<br>京ベイ幕張） |
| 12月12日 | 狂犬病予防対策に関する講習会（さい<br>たま市 大宮法科大学院大学）             | 3月6日      | 平成25年度関東・東京合同地区獣医師<br>会連合会第3回理事会（群馬県高崎市<br>ホテルメトロポリタン高崎）           |
| 12月15日 | 西支部学術講習会（川越市 南文化会<br>館）                         | 3月23日     | 西支部学術講習会（川越市 南文化会<br>館）                                            |
| 12月17日 | 第28回動物感謝デー企画検討委員会<br>（東京都港区 日本獣医師会）             |           |                                                                    |

## 編集後記

今年のカレンダーも一枚となり慌ただしさを増すこの頃となりました。猛暑から日を待たず突然の寒波襲来となり、老いの身に取って体調維持は困難な日々が続いています。高校生の頃は、暑さ寒さも身体を鍛えるチャンスとばかり、猛練習に励んだこともあり今では懐かしく思い出されます。今はというと、身体から熱が作られない分、暖房の効いた部屋で炬燵に入り、アルコールを取り入れながら内燃機関の熱を作る日々です。

師走は陰暦12月の異称だそうです、その語源については、『経をあげるために師僧が東西を馳せる月であり、また、四季や年が果てるシハツ、トシハツなどにもとづくという。先生も走るという意味ではなかった。』（岩波新書―季語集―より）とありました。筆者も長く先生が走り回る年末の意味と思っていました。よくよく現実を鑑みるに12月は毎年患者さんも少なく医院も動物病院も先生は走り回ることもないと納得しました。

「年の瀬や漕が<sup>かじ</sup>ず楫せず行くほどに」（小西来山）―季語集より―は、計画もなく暮らしているうちに年の瀬にさしかかったという俳句だそうです。季語集によると、年の瀬の「瀬」には浅瀬、急流、事に出会う時や場所という意味があり、年の瀬は、月日が波のように流れ、今年から来年へ向かって急流になっているさま。あるいは1年の最後の波が浅瀬になっているようすだそうです。気持ちの持ちようでどちらでも良いそうです。若い人にとっての年の瀬は、来年に向けての急流が似合っているかも知れせんし、還暦を過ぎた筆者の年の瀬は、浅瀬と感じるこの頃です。

さて、獣医師会は漕がず楫せず行くほどにというわけには参らず、公益社団法人としての元

年は、役員の先生方の真摯な精励と誠実な会務執行により恙なく年の瀬を迎えられました。偏に会員諸先生方のご尽力の賜と感謝と敬意を表します。

清水寺の今年を象徴する漢字は、『輪』だそうです。オリンピック招致成功や災害における復興協力の輪などからイメージされたようです。我が獣医師会にとっても多岐に亘る職能を有し、多方面に職域を有する専門家集団として、会員相互の『輪』を基本として720万を超える埼玉県民の安寧な生活を担保するための知恵の『輪』を以て社会に貢献してきました。獣医学を研鑽し質の高い獣医療を県民に提供すること、獣医学を基礎とした獣医療行政、公衆衛生行政の各々の施策は埼玉県民が社会で活躍するための盤石な基盤を形成するものと信じています。獣医師個人では成し得ない社会貢献も公益社団法人であればこそ成し得るものと思われまます。地域における獣医師の輪、職域における獣医師の輪、同窓における輪などが相互に連携を確かなものとし、埼玉県獣医師会の輪が更に一段と大きな輪となり、県民の礎と成り得るように力を結集したいものです。社会の先行きが不透明な昨今、我々には獣医学という寄る辺があります。不安なときこそ、獣医学に専念して深め極めることが求められます。会員の諸先生におかれましては、この愛すべき日本発展の捨て石になる覚悟を以て、迷うことなくそれぞれの獣医学を研鑽されることを切に祈念申し上げます。

年の瀬における会員諸先生ならびにご家族の皆様への平和を祈念しつつ、2013年最後の会報をお届け致します。どうぞ良いお年をお迎え下さい。  
(初雁)

# 旭化成ヘーベルハウスから 埼玉県獣医師会の皆様へ



2階、3階、4階建て住宅から賃貸住宅、さらに店舗併用、  
医院併用住宅についても豊富な経験と実績の旭化成ヘーベルハウス。

代理店を通さない直接契約で土地活用、相続対策も責任をもってお手伝いさせていただきます。

## 新大地 [新天地]

日本の民家の原点を、「シェルター」という発想で  
みつめ直した住まい。端正な寄棟の大屋根を  
頂き、大地にしっかり根をおろしたような力強さを  
醸し出します。



## CUBIC [キュービック]

丹念に作り込むことで生まれる濃とした佇まい  
は街並と調和しながら、風景のようにあり続ける  
住まい。



## FREX [フレックス]



頑強なシステムラ  
メン構造を採用。  
柱だけで建ちあが  
る強靱な躯体は、  
自由でダイナミック  
な空間創出を可能  
にしています。2～  
4階建てに対応  
しています。

## ヘーベルメゾン プラスわんプラスにゃん ペットと暮らせる賃貸住宅で、長期安定経営を。



ペットの飼育率は、ここ数年で全国的に高まっており、

特に都市部でその傾向が際立っています。

ヘーベルメゾンのペット共生賃貸住宅システム

「プラスわん プラスにゃん」は人とペットが暮らしやすく、

入居者間コミュニティがあり、

オーナー様と入居者が安心できる管理体制で、オ

wner様・入居者・ペット三者の満足を

最大限に満たすことを目指します。

ハード・ソフト・サービスの三位一体で、

長期安定経営を

サポートします。

HEBEL MASON  
+わん+にゃん



## HARD

ALCコンクリート・ヘーベル  
ハイパーフレーム構造  
高耐久エクステリアパーツ群  
ペット対応設備仕様

## SOFT

ペット共生賃貸住宅30年一括借上げシステム  
トータルプランニングシステム  
ペット飼育を前提とした管理規約ルール

## SERVICE

60年点検システム  
ヘーベルメゾン友の会  
アフターサービス、リフォーム体制  
入居者間のコミュニティの提案

## 住まいづくりの参考になる カタログを差し上げます。

上記以外にも、お客様の理想の住まいづくり  
のお手伝いになるカタログをご用意してい  
ます。お気軽にご連絡ください。Eメールでも  
お受けしております。

## ANIMAL CLINIC

【動物病院併用住宅 実例カタログ】

ヘーベルハウスで、理想の  
動物病院併用住宅を建ててま  
せんか？

5件の実例を写真とプランで  
解りやすく紹介しています。  
敷地適応力もったプラン自由  
性を活かした建築。先生方の  
こだわりをご覧ください。



## 知っておきたい!相続の勘どころ ～平成23年度新税制対応～

平成23年から相続税の  
内容が変わります。  
相続税の計算方法から  
手続き、また相続税の  
節税対策や遺産分割の  
方法などをわかりやすく  
解説しています。



旭化成ヘーベルハウスに関してのお問い合わせ、  
またカタログをご希望の方は下記までご連絡をお願いいたします。

☎ 0120-883-627 (担当:土生津 はづつ) E-mail:habutsu.sb@om.asahi-kasei.co.jp

旭化成ホームズ株式会社 埼玉総合第一支店 〒336-0027 埼玉県さいたま市南区沼影1-10-1 ラムザタワー7F



ACTY



ミルクが出ない



太りすぎ



卵が少ない

そんな悩みを

わかっていてくれる。



治りが遅い



高齢化



食欲がない

**アクティは大切な動物の健康をサポートします。**

私共、アクティ動薬事業部は、動物病院ならびに

牛、豚、鶏などの産業動物を対象とした

動物用医薬品、特別療法食、医療機器等の販売をしています。

20世紀は抗生物質の時代、

21世紀は生菌製剤の時代といわれるように、

健康に関する考え方も大きく変化してきています。

私たちは、獣医療を支えている関係者、畜産農家、

ペットオーナーの皆様方と共に、健康で、豊かで、安心な

生活を営んでいけるように、力を注いでまいります。

本社・長野県営業部

〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村8228

TEL:0263-87-7247 FAX:0263-87-7247

北関東営業所

〒370-1135 群馬県佐波郡玉村町板井870

TEL:0270-65-0552 FAX:0270-65-0553

さいたま営業所

〒338-0004 埼玉県さいたま市中央区本町西5-3-24

TEL:048-611-6111 FAX:048-611-6116

千葉営業所

〒260-0851 千葉県千葉市中央区矢作町243

TEL:043-308-0221 FAX:043-308-0223

茨城営業所

〒311-4152 茨城県水戸市河和田1丁目1642-1

TEL:029-306-8271 FAX:029-251-3880

**アクティ株式会社**

<http://www.acty-kk.com>